

共助社会づくりシンポジウム

～阪神・淡路大震災から20年目を迎えて～

in 関西

阪神・淡路大震災から20年目を迎えています。震災を契機に根付いたとされる寄附とボランティア。活力あふれる共助社会の実現のため、寄附やボランティアの活動が活発になるにはどうしたらよいか。また、地域の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス。その現状と課題、今後の可能性について議論し、これから共助社会はどこに向かうのか討議します。

日時：平成26年6月14日(土)

(受付・開場 12:15) 13:00～17:15

会場：神戸国際会館セミナーハウス
(神戸国際会館9階大会場)

参加費：無料

定員：220名(先着順・事前登録制)

プログラム

開会挨拶 13:00～13:15

西村 康稔 (内閣府副大臣)
井戸 敏三 (兵庫県知事)
久元 喜造 (神戸市長)

基調講演 13:15～13:45

「共助社会づくりについて」

奥野 信宏 (中京大学総合政策学部 教授)

パネルディスカッション① 13:50～15:15

「共助社会の寄附とボランティア

～震災以降の歩みと今後のあり方～

ファシリテーター

深尾 昌峰 (公益財団法人京都地域創造基金 代表理事)

パネリスト

実吉 威 (公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 専務理事 / 認定 NPO 法人市民活動センター神戸 理事・事務局長)

能島 裕介 (特定非営利活動法人プレーンヒューマニティー 理事長)

水谷 綾 (社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局長)

休憩 15:15～15:30

パネルディスカッション② 15:30～17:15

「ソーシャルビジネスの現状とその可能性について」

ファシリテーター

山内 直人 (大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授)

パネリスト

小倉 譲 (特定非営利活動法人しゃらく 代表理事・事務局長)

久保 幸一 (日本政策金融公庫国民生活事業本部南近畿地区統轄室 室長)

高津 玉枝 (株式会社福市 代表取締役)

中村 順子 (認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長)

森田 拓也 (公益財団法人神戸いきいき勤労財団 いきいき勤労部長 / 前神戸市市民参画推進局参画推進部 担当部長)

閉会 17:15

名刺交換会 17:20～18:00

※プログラムの内容・時間は予告なく変更になる場合があります。

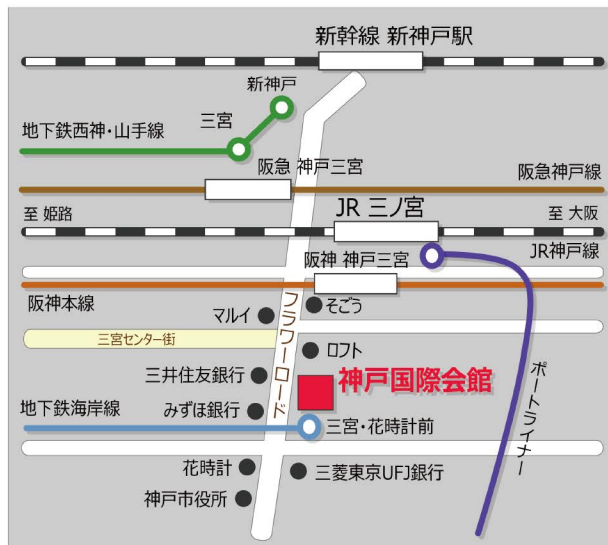
会場・アクセス

神戸国際会館セミナーハウス

(神戸国際会館9階大会場)

兵庫県神戸市中央区御幸通8丁目1番6号

JR神戸線三ノ宮駅「中央口」より徒歩3分 地下鉄西神・山手線三宮駅「東出口」より徒歩5分
阪急神戸三宮駅「東改札口」より徒歩3分 地下鉄海岸線三宮・花時計前駅改札直結
阪神神戸三宮駅「西口」より徒歩2分 ポートライナー三宮駅より徒歩5分



参加申込方法

ホームページまたはFAXでお申込みください。
※定員(220名)になり次第、受付を終了します。
※当選者の発表は、参加証の発送をもって代えさせていただきます。

ホームページ

<https://www.npo-homepage.go.jp/kyoujosympo/>

FAX

03-3581-0851

(裏面のFAX用申込書をご使用ください。)

お問合せ先

内閣府 政策統括官(经济社会システム担当) 付
参事官(市民活動促進担当)

TEL: 03-5253-2111 (内線 46164)
(受付時間 9:30～17:15 土日祝日を除く)



締切日
2014

5.16(金)

基調講演

「共助社会づくりについて」

奥野 信宏



中京大学総合政策学部 教授 / 共助社会づくり懇談会 座長

1945年生まれ、島根県出身。中京大学理事・教授、公共経済学専攻、経済学博士。京大院修士終了。名大経済学部教授・学部長、同大副総長等を経て現職。国土審議会会長、共助社会づくり懇談会座長等。著書「公共の役割は何か」（岩波書店、2006年）、「地域は「自立」できるか」（同、2008年）、「公共経済学第3版」（同、2008年）、「新しい公共を担う人びと」（共著、同、2010年）、「都市に生きる新しい公共」（共著、同、2012年）他。

パネルディスカッション①

「共助社会の寄附とボランティア

～震災以降の歩みと今後のあり方～

ファシリテーター

深尾 昌峰



公益財団法人京都地域創造基金 代表理事

1998年きょうとNPOセンター設立と同時に事務局長に就任。以来、京都を中心とする市民活動基盤整備に奔走。2001年には日本で初めてのNPO法人放送局「京都コミュニティ放送」を立ち上げ、事務局長も兼務。（現在は副理事長）また2003年から2007年までは京都市市民活動総合センターの初代センター長を務めた。2009年からは、公益財団法人京都地域創造基金の理事長に就任し、市民性を引き出す仕組みづくりに興味がある。2010年4月から龍谷大学法学部准教授に就任。

パネリスト

実吉 威



公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 専務理事 / 認定NPO法人市民活動センター神戸 理事・事務局長

金融機関勤務を経て1995年1月阪神・淡路大震災の直後にボランティアとして神戸に入る。当初は復興支援を中心に市民活動の支援（今でいう中間支援活動）に関わる一方、NPO法の立法や支援税制の運動にも携わってきた。2010年秋に認定NPO法人を取得、以降、東日本大震災を経て、「寄付」という市民参加の可能性を追求してきた。2013年夏にひょうごコミュニティ財団を設立、「共感寄付」事業など寄付と助成のイノベーションに取り組む。他に特定非営利活動法人市民社会創造ファンド運営委員（理事）など。

パネリスト

能島 裕介



特定非営利活動法人ブレンヒューマンティアー 理事長

神戸生まれ。1994年関西学院大学の友人らで子どもたちの学習支援を行う「関学学習指導会」を設立。1995年阪神・淡路大震災で被災した子どもたちの支援活動を展開。1998年同大学を卒業し、株式会社住友銀行入行。その後、同行を退職し、2000年特定非営利活動法人ブレンヒューマンティアーを設立。同法人理事長に就任。子どもたちを対象にした野外活動や不登校児童等の支援など幅広い事業を展開。同法人理事長のほか、尼崎市参与、兵庫県立大学客員教授なども務める。

パネリスト

水谷 綾

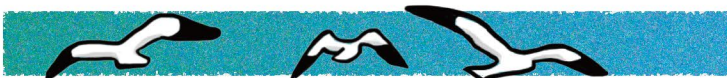


社会福祉社法人大阪ボランティア協会 事務局長

1968年生まれ、大阪在住。1997年に大阪ボランティア協会に入職し、2010年6月から同協会事務局長に就任。これまで、NPOの運営コンサルティング業務や研修活動、企業市民活動の促進など、市民活動を推進するための事業に取り組んできた。同協会では、ボランティアの参加による事業推進の実践を通じて、参加型社会の創造を目指している。著書など：「NPOと行政の協働の手引き」、「実践！NPOの会計・税務」、「これからのSR～社会的責任から社会的信頼へ」、「テキスト市民活動論」など。

※ 講演者プロフィールは内閣府NPOホームページでもご紹介しています。

<https://www.npo-homepage.go.jp/kyoujosympo/>



パネルディスカッション②

「ソーシャルビジネスの現状とその可能性について」

ファシリテーター

山内 直人



大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授

1978年大阪大学経済学部卒、M.Sc.（英 London School of Economics）。博士（大阪大学）。経済企画庁（現内閣府）エコノミストを経て、1992年に大阪大学に移る。同大学経済学部助教授などを経て大阪大学大学院国際公共政策研究科教授（現職）。2003年度に大阪大学NPO研究情報センターを創設し、現在までセンター長を務める。1999年の日本NPO学会の創設に参加し、理事などを経て、2006～2011年度まで会長を務める。日本NPO学会の公式機関誌である『ノンプロフィットレビュー』の編集長も務めている。専門は公共経済学、政策研究。

パネリスト

小倉 譲



特定非営利活動法人しゃらく 代表理事・事務局長

1977年6月18日生まれ1996年：高校卒業後、中国上海、雲南省へ4年間の留学。その間、中国とアジアを中心に放浪の旅をする。2000年立命館アジア太平洋大学マネジメント学部入学。大学時代は、語学塾の立ち上げと運営を行う。2004年アパレルメーカーに就職する。2005年NPC（非営利株式会社）と橋の立ち上げ、代表に就任。2006年特定非営利活動法人しゃらくに組織変更し、代表理事兼事務局長に就任。2013年まきゆめProjectマネージャーに就任。

パネリスト

久保 幸一



日本政策金融公庫国民生活事業本部南近畿地区統轄室 室長

1968年生まれ。兵庫県出身。1992年4月国民金融公庫（現日本政策金融公庫）に入庫。総括室調査役、神戸支店創業支援課長、神戸創業支援センター所長を経て、現在南近畿地区統轄室長。兵庫県地域づくり活動支援事業運営委員、神戸市ソーシャルビジネス推進委員、公益財団法人ひょうごコミュニティ財団専門アドバイザーなどを歴任。

パネリスト

高津 玉枝



株式会社福市 代表取締役

大学卒業後、大手メーカーに入社、営業を担当。その後、1991年にマーケティング会社を設立し、大型商業施設のアドバイザー、商品企画、新規事業の立案や販売戦略を手掛ける。2006年に社会の課題をビジネスの力で解決する社会的企業として「株式会社福市」を設立。途上国の貧困問題の解決に「お買い物でできる支援」を提案する、フェアトレードのセレクトショップ「Love&Sense」を2012年に阪急うめだ本店に直営ショップを出店。

パネリスト

中村 順子



認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長

総合商社、広告代理店勤務を経て、1982年から「神戸ライフケア協会」に所属、1995年から「東灘地域助け合いネットワーク」代表幹事として阪神淡路大震災の救援組織を立ち上げ復興活動に取組む。1996年にNPOの起業や支援を行う中間支援組織「コミュニティ・サポートセンター神戸」（1999年NPO法人認証、2013年に認定取得）を立ち上げて理事長を務め現在に至る。神戸市東灘区社会福祉協議会評議員、大阪ボランティア協会評議員も務める。著書に「高齢者ケアのニューウェーブ」（共著、中央法規）ほか。

パネリスト

森田 拓也



公益財団法人神戸いきいき勤労財団いきいき勤労部長 / 前神戸市市民参画推進局参画推進部 担当部長

神戸市役所にて再開発事業等、市民とのまちづくりに関わり、1998年市民活動支援課新設、震災以降のNPO等を支援。NPOと行政との協働の基本スキームづくり等に取り組む。2010年より市民参画推進局市民協働推進担当部長として、地域コミュニティ・NPO等を総合的に支援しながら、今後のコミュニティ施策の方向性を研究・提言。特定非営利活動法人しみん基金・こうべ、特定非営利活動法人All About Science Japan 監事。

FAX 用申込書 送付先:03-3581-0851 参加申込締切:2014年5月16日(金)

ふりがな		電話番号 ※ 必須	
お名前 ※ 必須		FAX 番号 ※ 必須	
ご住所 ※ 必須	〒	年代	□10代 □20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70歳以上
E-mail			
性別	□男性 □女性	職業	□NPO(役員・職員) □会社員 □会社経営者 □公務員 □学生 □無職 □その他